

共済と保険

五四年七月号 目次

巻頭言・組合員のなかの農協

(八)

交叉点

法と経済	谷山新良
掃除教育論?	松田信治
船団行政の終焉	片井顕市

(一〇)

保険の動向と共済

(一七)

——六・一四答申を軸に——

“生命保険一一〇番”から

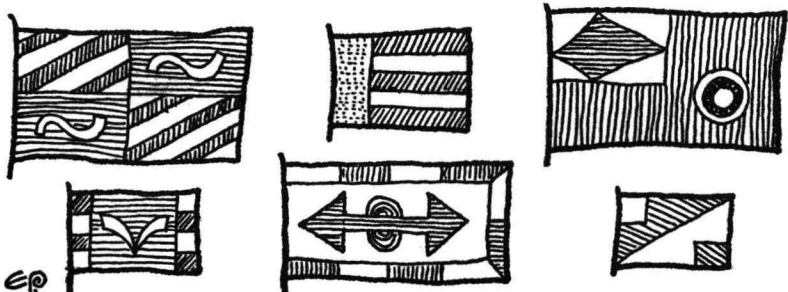
(五一)

海部多賀子

〔資料・保険審議会答申全文〕

今後の保険事業のあり方について

(三四)



時言月評・プルデンシャルの日本進出

保険部長かわる……………(六三)

論調・国鉄年金の危機が教えるもの

民法改正案と「妻の座」の強化……………(六〇)

拾遺抄⁽¹⁰⁾

被保険利益と生保の体質……………五木田和次郎……………(六六)

毎月一題・中流意識に寄与するもの……………山内保……………(七二)

質疑応答・損保の総会開催日……………(三四)

雑談・夏……………篠島祥……………(八〇)

グラフ・第一九回通常総会風景……………(六)

ことば・銀行の信用……………(七)

展望・生・損保53年度の事業概況……………(七四)

編集後記……………(八一)

☆表紙デザイン・八木聖子 ☆目次・交叉点カット・全共連 印南博之